

(様式第2号)

# SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和6年7月2日
事業者名:	山喜製陶株式会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	山喜製陶株式会社では、事業において事務処理等のIT化を進める事で資源の無駄の削減に取り組んでおります。ITによるペーパーレス化で資源の無駄を省き、環境問題に対して取り組んでおります。事業で使用する紙を全てPDF化する事によるペーパーレス化を実施。	⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに	2024年3月以降、ペーパーレス化により紙資源の使用を削減。2024年4月においては、印刷数を20%削減。	指標	事業におけるペーパーレス化の完全達成
				目標	2030年までに、事業活動における全てをペーパーレス化する事の完全達成。
社会	山喜製陶株式会社では、事業において瑞浪地域の伝統文化であるみずなみ焼きの製作とみずなみ焼きの歴史の情報発信もしております。伝統とはその地の歴史であり、紡いできた人の歴史、まちの歴史です。だからこそ、みずなみ焼きを後世に伝えると共に、今の人々への情報発信も行っております。	⑩住み続けられるまちづくりを	美濃焼・みずなみ焼きについてセミナー・情報発信を5月11日に開催。受講者3名。	指標	美濃焼・みずなみ焼きについてセミナー・情報発信の実施回数
				目標	2030年までに、年間12件以上(月に1回以上)の美濃焼・みずなみ焼きについてセミナー・情報発信を目標とする。
経済	ワークライフバランスの充実の為に山喜製陶株式会社では、私生活を充実できるように様々な施策に取り組んでおります。工場稼働スケジュールを変更し、年間休日を増やし、趣味の時間や家族の時間などを確保する事で仕事への働きがいを促進し、経済成長に繋がる活動となっております。	⑧働きがいを促進し、経済成長も	2024年4月から、工場稼働スケジュールの見直しによる年間休日増加。	指標	従業員の働き方の変更、ワークライフバランスの重視に伴う働きがいの満足度の上昇
				目標	半年に一度の従業員との面談において、ワークライフバランスへの意識と働く意欲に関する項目を追加。5段階の評価(1が最低5が最高)をしてもらい、平均4点以上を目標とする。

ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載>  ■重点項目についてホームページへの記載と従業員への周知を行っております。 ■半年に1度の面談の際に重点項目のSDGs活動についてのヒアリングと意見交換・意識共有を行い、PDCAサイクルを回す仕組みとしています。
	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。  SDGsの取り組みについての特設ホームページ： <a href="https://yamakiseito.co.jp/sdgs/">https://yamakiseito.co.jp/sdgs/</a>